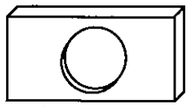
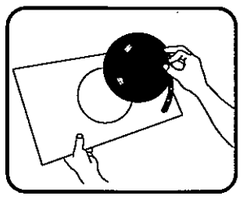
適切なサイズに膨らませる事が大事

バルーンの必要量は全部でおよそ50個になりますが、全てのサイズをそろえる事がとても大切となります。

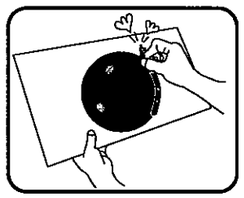


サイザー型紙

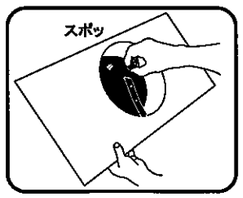
バルーンのサイズをそろえるためには、キット内付属品の"サイザー型紙"を利用します。
サイズを測るのにとても重要なアイテムとなりますので、大切に扱いましょう。



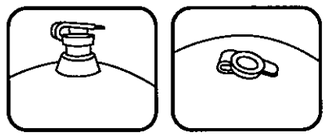
適切なサイズへ膨らませた後、
バルーンをサイザーの穴へ押しあてます。
（サイザー型紙の大きさよりも少し大きく
膨らませます）



この時点ではサイザーの穴に対して
バルーンの方が大きいので、注入口を
つまみながらエアー抜きます。
サイザーの穴へ抜けるまで押しあてます。



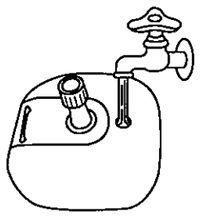
サイザー穴に通ったこのサイズが適切な
サイズとなります。



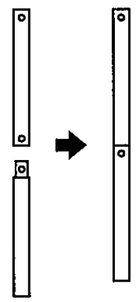
最後の措置として注入口のバルブを閉めた後、
押し込む作業を必ず行ってください。
この作業をしないとエアーもれの原因となります。

作業にとりかかります

●フレームを組み立てます

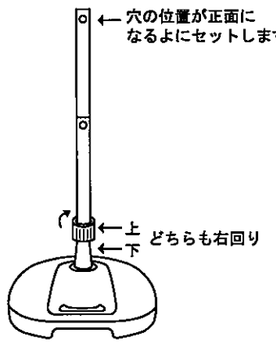


ベーススタンドへ水をいっぱいになるまで入れます。
（満水時19kg）



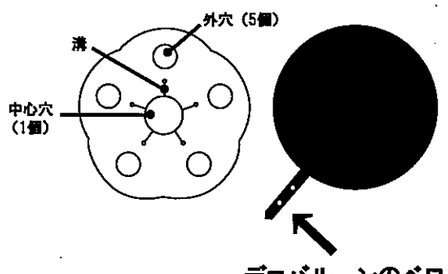
コラムタワー専用ポールを
組立てます。（ねじ止め要）

注）
上下穴の位置が
異なりますので
逆さまにならないように
とりつけて下さい。



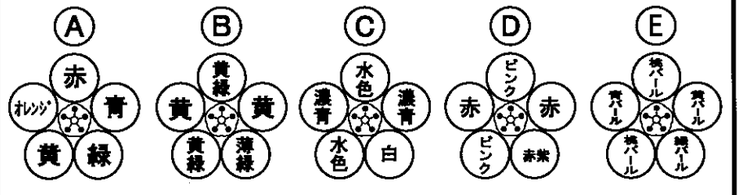
ポールをベースへ差し込みます。
ベース差込口の上と下両方ともしっかりと締めつけます。

●プラムにバルーンを1個ずつ取りつけます



カラーバリエーションのご案内

カラーの種類はA～Eタイプの全5種
各タイプによりプラムに取りつけるカラーパターンは異なります。
以下の組み合わせで組んでいただくと、バランスの良いカラーが出来上がります。是非ともご参照下さい。



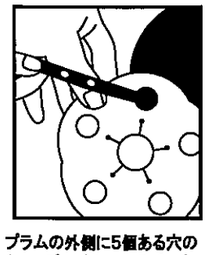
5個とも
違うカラー
×各1個

黄緑と黄色×各2個
薄緑×1個

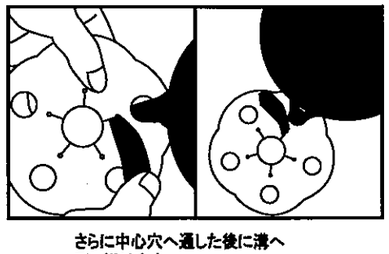
水色と濃青×各2個
白×1個

ピンクと赤×各2個
赤紫×1個

桃パール×2個
黄パール・緑パール
青パール×各1個



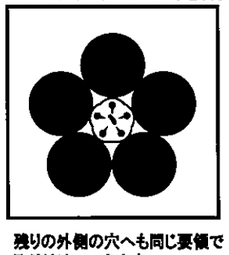
プラムの外側に5個ある穴の
1つへデコバルーンのベロを
通します。



さらに中心穴へ通した後に溝へ
引っ掛けます。

溝に引き込む際に、あまり
力を強く入れすぎますと、
溝がちぎれる原因となります
のでご注意下さい。

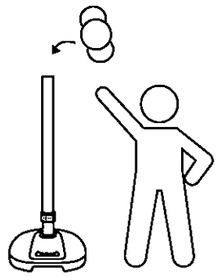
1つのプラムが完成



残りの外側の穴へも同じ要領で
取り付けていきます

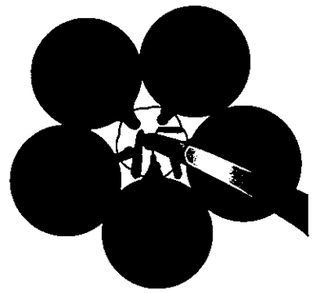
設　置

●ポールへ、プラムに取り付けたバルーンを設営していきます。

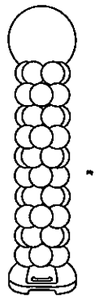


プラムに取り付けたバルーンを
ポールへ通していきます。

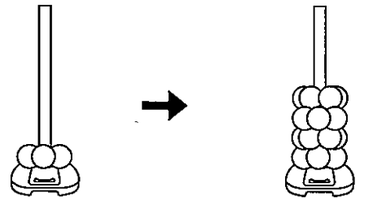
通す前の注意事項！



フレームに対して通すプラムの向きは必ず一定方向で行います。
バルーンのベロが表に見えている方向で通します。
逆向きですと、とても通しづらくなりますのでくれぐれも
正しい手順で作業を行ってください。



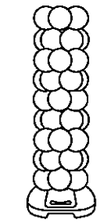
完成させるには、プラムに取り付けたバルーンが合計で
10段必要となります（目安数）
取りつける前にあらかじめ必要量作成しておくと
効率良く作業できます。



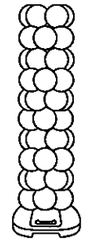
＊1段目が入りました

＊4段目まで入りました

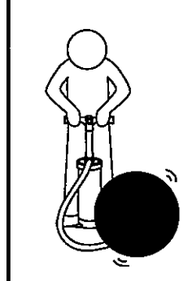
同じ要領でどんどん通していくだけでです。
図のようにバルーンとバルーンの間にくるよう
に重ねていきます。



9段目まで入れるとポールが
見えない状態になります。



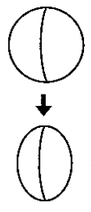
さらにその上へ10段目をのせます。
（ポールには通りませんので、
積み上げる状態になります）



トップバルーン用の65cm
デコバルーンを膨らませます。
（かなり大きいサイズなので
たくさん空気を入れる必要が
あります）

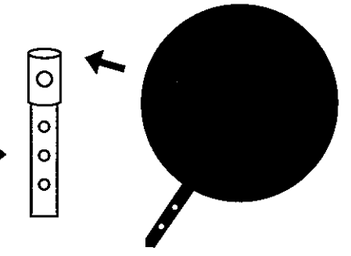
トップバルーンを膨らませる注意点

横から見た図

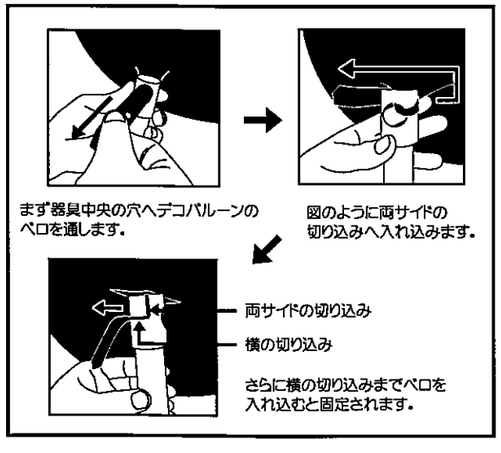


× 通常デコバルーンはまん丸に
なるまで膨らませますが、
65cmサイズにおいてはエアー
漏れの原因となります。

○ 図のような楕円形に留めます。
（シワはのばします）
※正面から見た形はまん丸です。



トップバルーン用ヘッド器具へ膨らませた
65cmデコバルーンを取り付けます



まず器具中央の穴へデコバルーンの
ベロを通します。

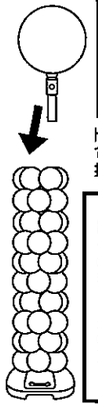
図のように両サイドの
切り込みへ入れ込みます。

両サイドの切り込み

横の切り込み

さらに横の切り込みまでベロを
入れ込むと固定されます。

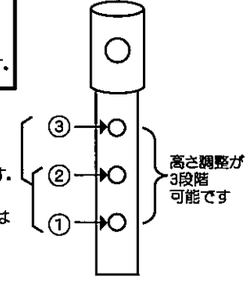
ジョイントして完成です。



トップバルーンの方へ
1段分のバルーンを
持ってきても良いです。

トップバルーン取り付け時の注意事項

トップバルーン器具には
高さ調整が3段階できます。
（ねじ止め要）



高さ調整が
3段階
可能です

トップバルーンが
ぐらついてきたら
②・③の位置へ
移動して取り付けます。

最初の取り付け位置は
①もしくは②へ
取り付けます。